

CPAS・IHS 共同主催 ドキュメンタリー映画上映・討論会

「渚にて」再訪

核・ハリウッド・オーストラリア

ドキュメンタリー映画「FALLOUT」は、オーストラリアで活躍した作家ネヴィル・シュートの原作による映画「渚にて（1959）」の製作にまつわる論争を、当時の映像と関係者の回想を中心に再検証するものである。この検証作業を通じて、このフィルムは、映画と文学、オーストラリアとハリウッド、そして激化する核軍拡競争の中でのヒロシマとナガサキのイメージや、アメリカとオーストラリアの戦略的思惑などを浮き彫りにしていく。

日時：10月18日（日）13:30 - 17:00

場所：東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE East K212

討論者

ピーター・カウフマン氏（映画プロデューサー、FALLOUT 制作者）

中尾秀博氏（中央大学教授）、川口悠子氏（法政大学講師）

共催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)

後援：豪日交流基金

問い合わせ：res@cpas.c.u-tokyo.ac.jp